

岐阜県で豚コレラ疑似患畜(7例目)を確認

岐阜県各務原市の養豚農場において豚コレラの疑似患畜が確認されました(7例目)。人やものによるウイルスの持込みに注意するとともに、野生いのしし等野生動物との接触防止など十分な発生予防対策をお願いします。

1. 発生施設の概要

所在地:岐阜県各務原市

飼養状況:繁殖豚127頭、肥育豚1,535頭

2. 経緯

- (1) 1月28日、岐阜県は、豚舎内に咳をする豚、発熱を呈する豚が多いとの農場からの報告を受け、立入検査を実施。
- (2) 1月29日、岐阜県中央家畜保健衛生所の精密検査の結果、豚コレラの疑似患畜であることを確認。

3. 豚コレラとは

- ・豚コレラウイルスを原因とする豚・いのししの家畜伝染病で、強い感染力と高い致死率を特徴とする。
- ・感染豚は唾液、涙、糞尿中にウイルスを排泄し、感染豚や汚染物品等との接触等により感染が拡大する。
- ・治療法はない。
- ・豚コレラは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはない。また、感染豚の肉が市場に出回ることはないが、感染豚の肉を摂取しても人体には影響はない。



家畜に異常等があれば、すぐに当所まで連絡をお願いします！

京都府中丹家畜保健衛生所

福知山市字半田371-2

TEL 0773-25-1860

FAX 0773-25-1861

(休日・夜間は転送されます)